

平成22年12月16日『県政タウンミーティング(南木曾町)テーマ:活力ある地域の振興について』における主な発言要旨及び県の考え方について

集会での発言要旨		参加者の発言に対する県の考え方	
参加者発言内容	知事等発言内容		所管課
<p>【なぎそねこ等特産物の普及について】</p> <p>「なぎそねこ」をはじめ、いろいろな特産物を広めていきたいが、出展料とかが高く、困難である。無料で出来るような対策はとれないか。</p>	<p><知事> 長野県の物産を全国、世界にどんどん売っていかなくてはならないと思う。 アンテナショップについては、他県に比べると弱いと思っている。もう少し経済団体の皆さんと力を合わせて出来ないかなと思う。 都会側のニーズを探ることが必要。県が100%お金を出すのではなく、市民レベルでも可能性があるのではないか。 行政も役割を変え、皆さんのニーズをコーディネートすることが必要。</p>	<p>出展料補助:可能性のあるものとして、「地域産業活性化基金事業」、「元気づくり支援金」があります。 アンテナショップ:コンビニエンスストア内アンテナショップ開設として平成22年4月に東京都内ナチュラルローソン内に県産品販売スペースを開設し、平成23年度は名古屋にも開設予定です。(ただし食品中心) ネット通販による販路拡大:ネットショップ開設運営相談・セミナー開催等を行うインターネット活用型販売促進支援事業の活用が可能です。 平成23年度は、中京・関西圏のバイヤーを対象とする商談会を名古屋で開催する予定です。(平成24年1月下旬開催予定)</p>	<p>商工労働部 経営支援課</p>
<p>【256号線工事見直し、国民健康保険について】</p> <p>256号線の未着工区間(なしの木沢から下)の見直しはどうか。</p>	<p><石井建設事務所長> まだ着工の目途は立っていないが、国道である以上やらなくてはいけないと思っている。</p>	<p>・まずは既着工の漆畑拡幅の事業進捗を図ってまいりたい。 ご要望の箇所については、漆畑拡幅の進捗状況等を勘案し検討してまいります。</p>	<p>建設部 道路建設課</p>
<p>【蘇南高校について】</p> <p>ものづくり系列で使用している校舎が耐震強度がなく、危険である。安心して学べるよう、建替えをしてほしい。</p>	<p><知事> 耐震化の話は、出来る限り早く安心して学べるようにしていきたいと思う。ただ、優先順位が高いところからやっていかざるを得ない。</p>	<p>・ものづくり系列で使用している特別教室棟については、耐震診断の結果から改築が必要なレベルのため、平成23年度に新校舎建設の実施設計を予定しております。</p>	<p>教育委員会事務局 高校教育課</p>
<p>総合学科をつくり、教員が増えるとのことだったが、実際には逆に減ってしまっている。</p>	<p>経過や状況は教育委員会に聞いてみる。教員の数と質は重要な問題。数については、財政的な問題も踏まえ、考えていきたい。</p>	<p>・総合学科の教育システムを支援する教員配置が必要であることから、同規模の普通科高校の生徒数に比べて、多くの教員を配置しております。今後も、蘇南高校の学校規模や学科に応じた教員を配置してまいります。</p>	

平成22年12月16日『県政タウンミーティング(南木曾町)テーマ:活力ある地域の振興について』における主な発言要旨及び県の考え方について

集会での発言要旨		参加者の発言に対する県の考え方	所管課
参加者発言内容	知事等発言内容		
<p>【森林整備について】</p> <p>国の方針で平成23年度以降、伐採木を搬出しない切捨間伐に対しては補助金が出ないとのこと。このことにより、木曾は急傾斜地等で搬出が難しく、山の手入れが出来なくなると思われるが、知事の考えを伺いたい。</p>	<p><知事></p> <p>地域の特性に合った制度でなければ困る。皆さんが使いやすい制度にするには、地方分権が必要だと思う。皆さんで地方分権をサポートしてほしい。</p> <p>補助金については、県としても現行制度の中で問題意識を持って取り組んでいく。</p>	<p>・国が創設した「森林環境保全直接支援事業」においては、切捨間伐単独での事業採択は困難ですが、搬出間伐と一体的に行い、一定の条件を満たした切捨間伐は採択となりますので、県としては事業に採択されるための条件整備を進めるよう、森林所有者、林業事業者等に周知してまいります。</p> <p>・なお、切捨間伐は、森林税を活用した「みんなで支える里山整備事業」の採択要件に合致すれば実行可能ですので、ご活用いただくとともに、切捨間伐の必要性は県としても十分認識していることから、支援対象とするよう、引き続き国に要望してまいります。</p>	<p>林務部 森林づくり推進課</p>
<p>【山林行政について】</p> <p>木曾の山が荒れると本当に困るのは、平野(都市部)の人たち。県外の人にもPRしていただき、愛知用水で1立方1円負担しているように、森林づくり県民税に匹敵するようなことを県外にも広めることはできないか。</p>	<p><知事></p> <p>都会に住んでいる人たちに森の問題等を理解してもらうことが重要と思う。木曾川の交流や森林の関係で愛知県等へ伺って話をしたいと思う。</p> <p>森林づくり県民税の延長についても、広く皆さんの意見を聴きながら考えていきたいと思っている。</p>	<p>・本県においては、特に下伊那地域、木曾地域を中心に、県外下流域の地方公共団体や関係団体と協力して森林整備を実施している事例があり、他の地域に連携が広がるように周知に努めてまいります。</p> <p>・また、県外に住む方々から募っている「ふるさと信州寄付金」の一部が県内の森林づくりの推進に活用されています。</p>	<p>林務部 森林政策課 森林づくり推進課</p>
<p>【『KISOMURA 木の匠』プロジェクトについて】</p> <p>木工業界を取り巻く環境が厳しい中、県の支援等により商品開発や販路開発に取り組んできた。業界が衰退すれば、伝統文化の技術継承が危機となる。今後も引き続き県の支援をお願いしたい。</p>	<p><知事></p> <p>良いプロジェクトにして、ぜひ発信して欲しい。</p> <p>伝統文化の技術をしっかりと引き継いでいける地域にしていきたいと思う。これからは、人が人を呼べるような地域にすることが必要。</p> <p>伝承を続けて行ってほしい。県としても応援していくよう考えていきたい。</p>	<p>・地域資源製品開発支援センター事業では、『KISOMURA 木の匠』プロジェクトにおいて、企画から商品開発、デザイン、ブランドづくりのご支援をさせていただきました。今後も継続的なご支援をさせていただく中で、ご意見の趣旨が反映されるよう努めてまいります。</p>	<p>商工労働部 ものづくり振興課</p>